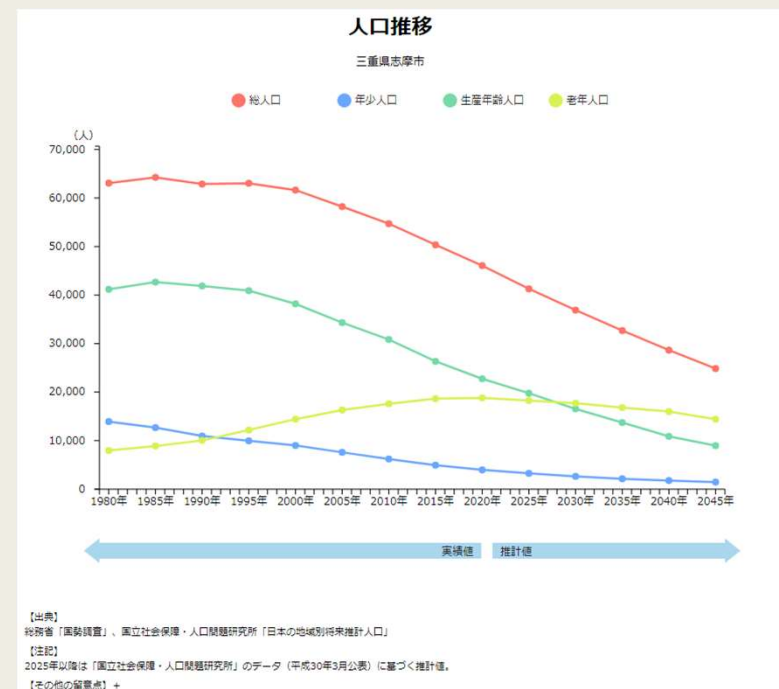
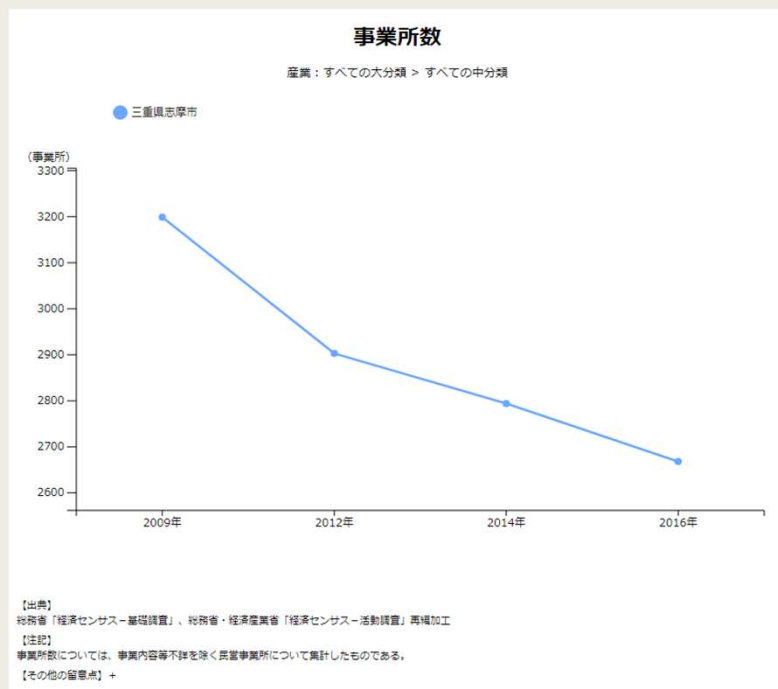




RESASを活用した志摩市の 観光について分析

志摩市商工会
令和4年6月

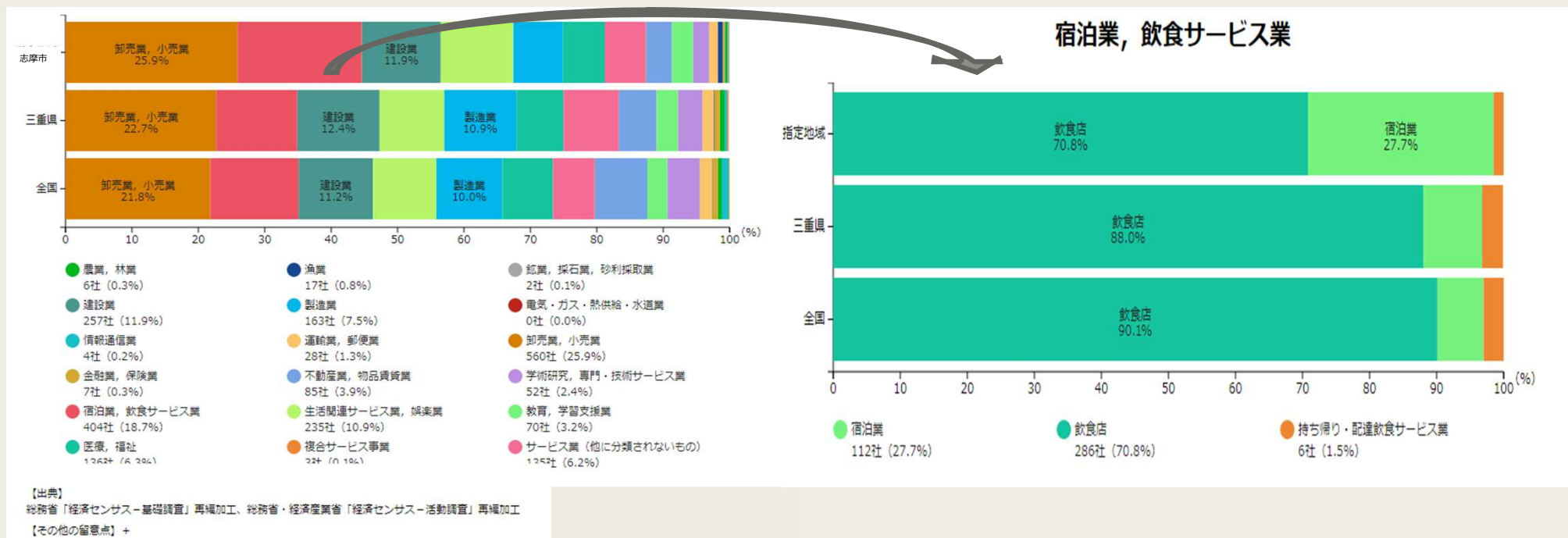
事業所数と人口推移から推測



『分析結果』

志摩市の事業所数は近年減少傾向にある。地域の人口減少や高齢化による廃業が原因にあると考えられる。2045年には、志摩市の総人口が25,000人を下回りそのうちの半数以上の約14,000人が高齢者となる予測が出ている。今後の事業所数減少もさらに減少していくことが予想される。

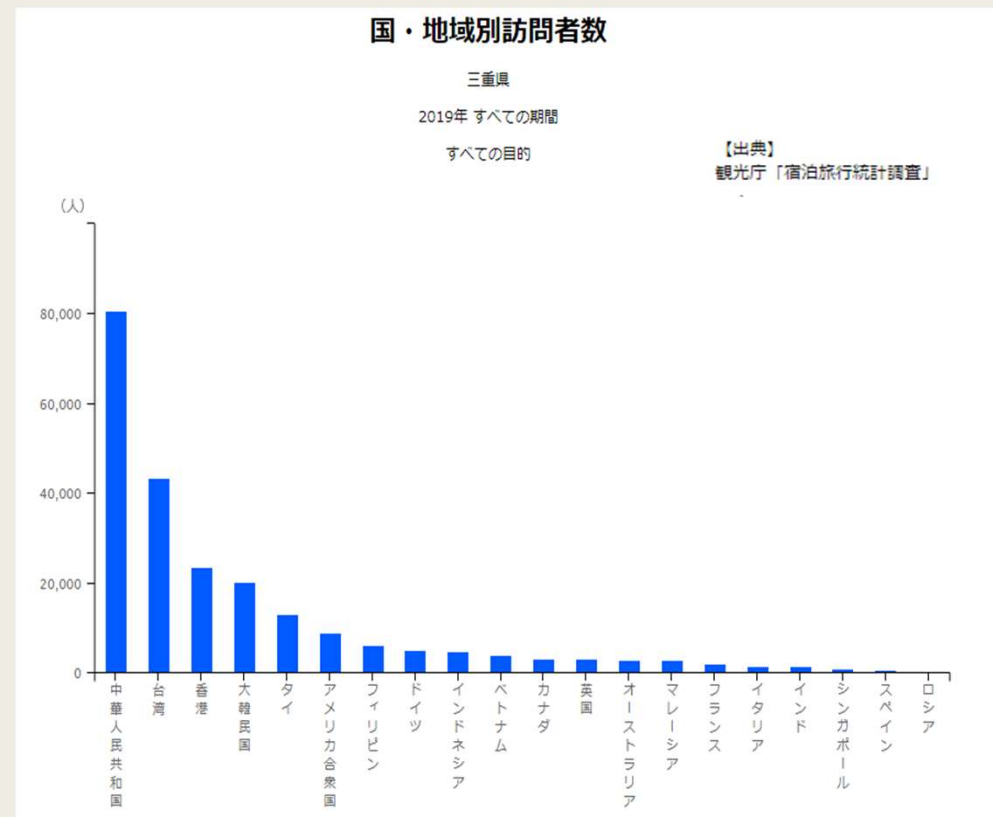
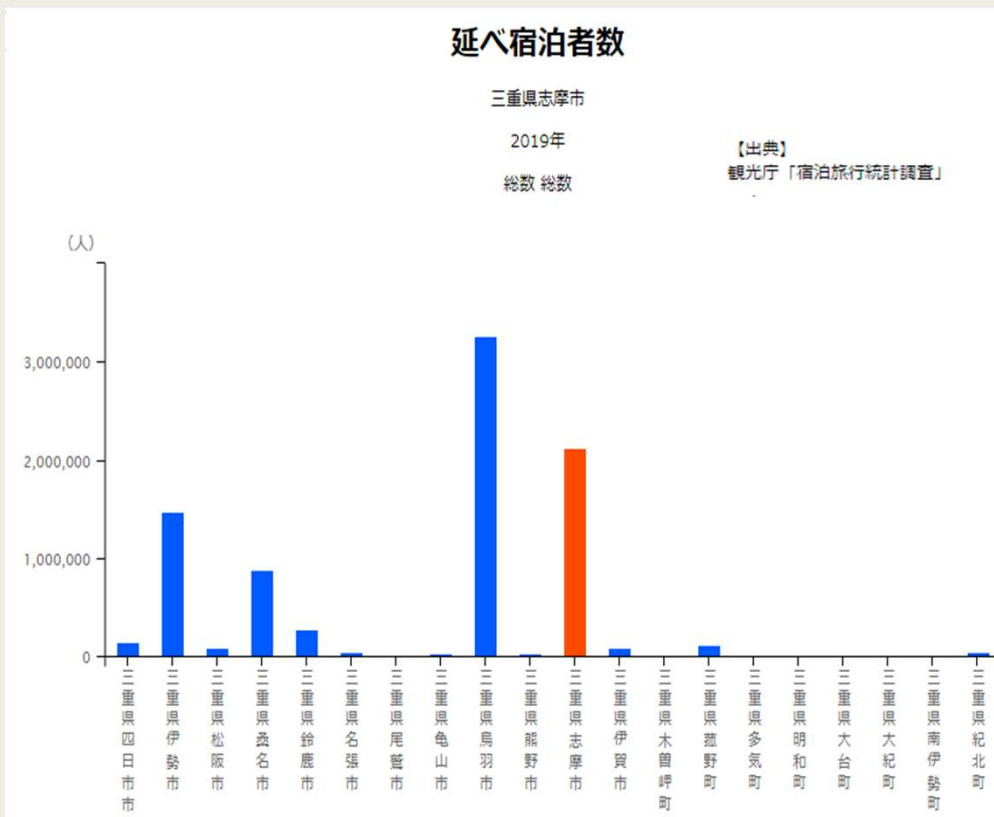
企業数における業種の割合の比較（2016年データ）



『分析結果』

志摩市は、観光業が盛んで志摩市全体の18.7%を占めている。全国のデータと比較してもその差は、5%以上ある。その中でも宿泊業については、全国の3倍以上となっており、志摩市の観光業が盛んであることが顕著に表れている。

三重県全体から見る志摩市の宿泊者数（2019年データ）

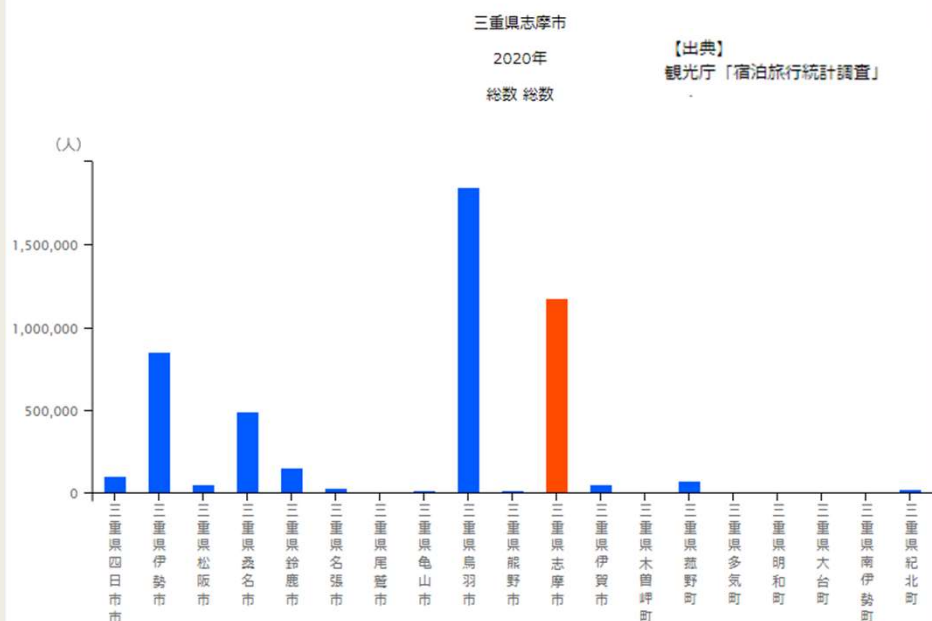


『分析結果』

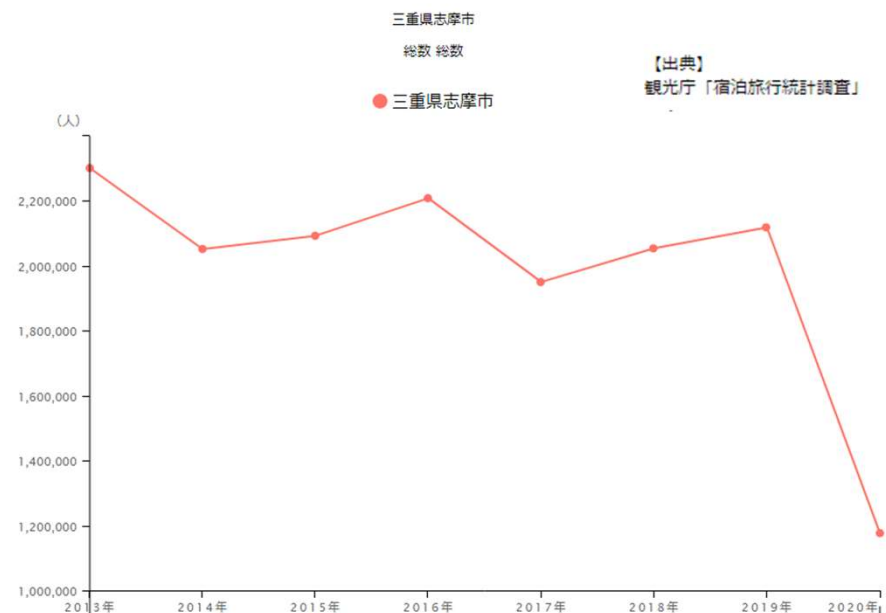
2019年に三重県へ訪れた人数は約850万人、そのうち志摩市に宿泊した人数は約211万人であることから三重県へ訪れた人のうち約25%、4人に1人に宿泊していることになる。志摩市の観光地として認識されている結果である。

宿泊者数と宿泊者の推移

延べ宿泊者数



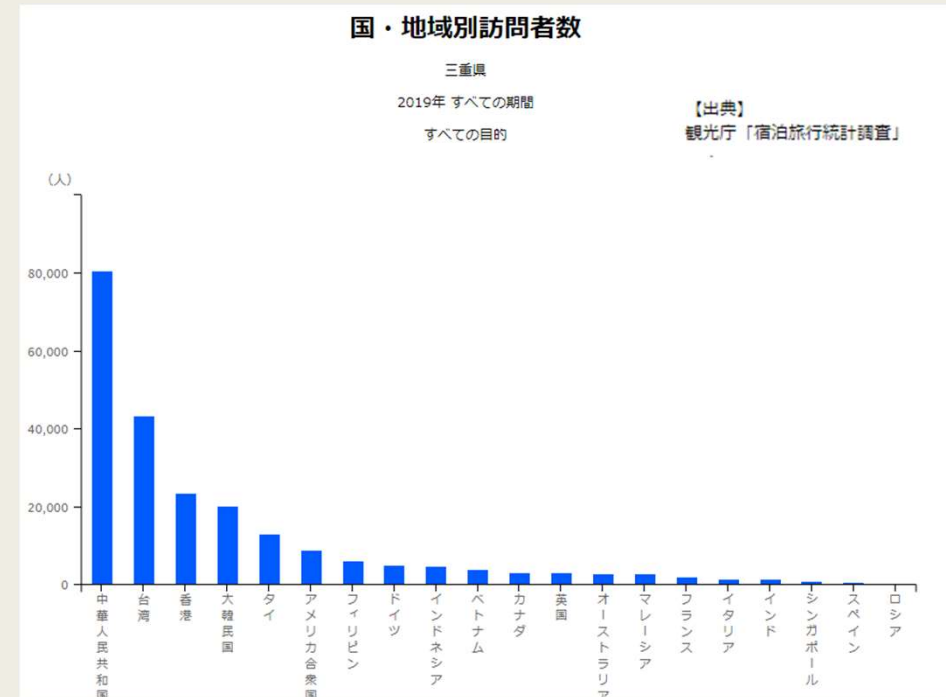
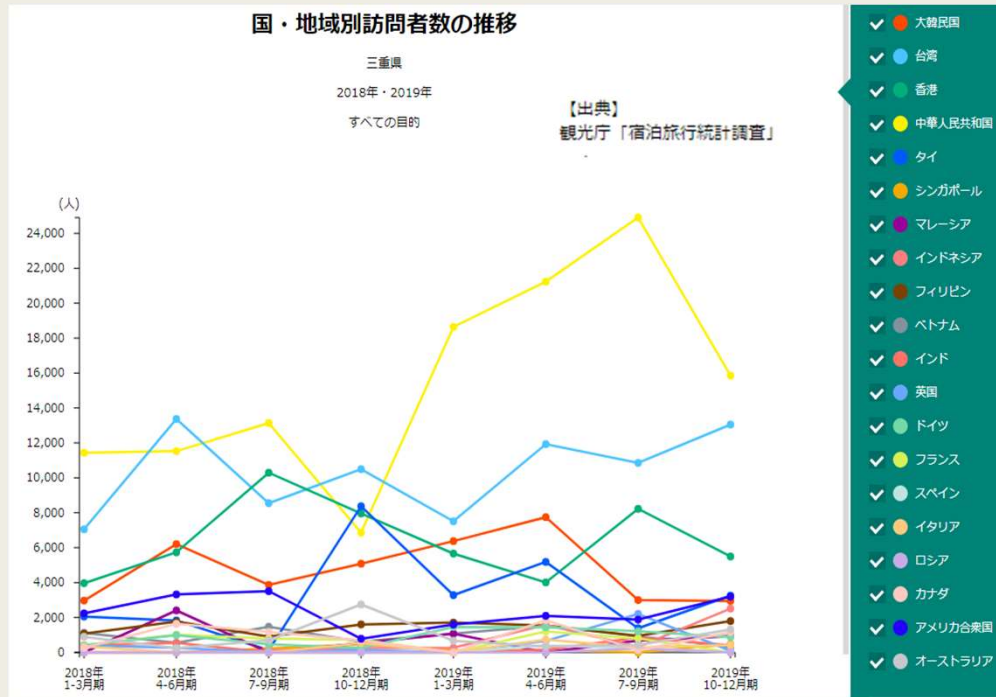
延べ宿泊者数の推移



『分析結果』

延べ宿泊者数を見ると三重県でも鳥羽市の次に志摩市が多いことがわかる。また、宿泊者の推移については、2017年から2019年まではインバウンドの影響で中国からの観光客が増えたことによる増加、2020年では、新型コロナウイルス感染症まん延による外出自粛による宿泊者数の減少が影響していると考えられる。

国別観光客の推移（2019年データ）



『分析結果』

2018年から2019年にかけて、中国からの観光客が圧倒的に多いことがわかった。2019年に三重県へ訪れた中国からの観光客は約8万人であった。ピーク時の2019年夏頃は、約2万4千人が中国から三重県へ訪れた。先ほどのデータより、三重県へ訪れた約8万人のうち4分の1の約2万人が志摩市へ訪れたと考えられる。